

GL アクティブ（国内研修） 実施講座名 『安房文化遺産フォーラムスタディーツアー』

- 1 目的 身近な戦争戦跡を巡り、安房地域がどのような戦略に巻き込まれ、住民や子どもたちがどのように戦争に巻き込まれていったかを学ぶことによって、平和を希求する心を養うとともに、研究課題を見つける一助とする。
- 2 日時 平成28年8月23日（火） 午前8時00分～午後5時00分
- 3 参加生徒 25名（1、2年生）
- 4 場所 NPO 法人安房文化遺産フォーラム 〒294-0036 千葉県館山市館山95小高記念館
- 5 内容 講師 NPO 法人安房文化遺産フォーラム 代表 愛沢 伸雄 先生



講師の愛沢先生から館山総合高校水産校舎にて館山の歴史と佐倉市とのつながりや足元（地域）の歴史から世界の歴史につながる事、世界交流の歴史を知ることが平和につながる事について教授を受ける。



赤山地下壕に移動し、地元ガイドの方の指導のもと館山の戦跡をめぐり、平和について学習する。

大巖院の四面石塔の謎と、足元の歴史と世界の歴史のかかわりを考えることの重要性について生徒は考えさせられる機会を得た。



6 生徒感想

「地下壕見学の時はここを実際に人が使っていたと思うと生々しい感じが伝わってゾクゾクしました。この研修でテーマにしたいことも見つけました。」

「足元の歴史を知るということが日本や世界の歴史を学んだりグローバルな視点で物事を見たりするのに重要だと知った。」

「この講座を通して課題研究テーマを平和に関係させて考えてみようと思いました。」

7 成果と課題

今回の「安房文化遺産フォーラムスタディーツアー」では、地域の歴史を知ることが国際理解につながることや、平和活動につながることを学習した。課題研究につながるテーマの発見やテーマの発見方法や研究方法を学ぶよい機会になったと思います。今後も NPO 法人安房文化遺産フォーラムと連携をとることが SGH 研究課題に必要だと思われます。SGH ガイダンスで説明した1年生のゴール(目標)

- ① 全員が海外に自信をもって発信できる、日本の歴史、伝統、文化を語れるようにする。通史的なことではなく、自分が語れること。
 - ② 研究したいグローバル社会における課題(日本を中心に考えてもよい)を見つける。(国際課題の解決に向けて、日本人に何ができるか、研究する。)
 - ③ 英語のプレゼンができるようにする(プレゼンの手法も含めて)。
 - ④ 課題研究の進め方を理解する。
- のうち、①、②、④の参考になったと思います。